



千医第 293 号  
平成 24 年 3 月 30 日

千葉県歯科医師会長 }  
千葉県薬剤師会長 } 様

千葉県医師会  
会長 藤森宗徳



千葉県共用地域医療連携パスをツールとして活用した  
各地域における糖尿病治療連携の推進について(依頼)

本会では、平成 21 年度から千葉県の委託を受け、千葉県共用地域医療連携パスをツールとして使用した地域医療連携の推進を図る目的で「千葉県共用地域医療連携パス共用化推進業務」を実施しております。

先般、千葉県共用地域医療連携パスワーキンググループ糖尿病部会より、本会宛てに別紙のとおり「糖尿病連携パスのさらなる普及のための提言」がなされました。これは、糖尿病連携パスのさらなる普及のためには、今後、医師会、歯科医師会、薬剤師会のさらなる連携のもと各関係機関が地域において糖尿病患者の状況を確認し、必要に応じて定期的な各専門医への受診勧奨など行うことを通じて重症化を予防することが重要であるとの結論を得たとの提言です。

本会といたしましても、各関係機関間のコミュニケーションを高めることにより、各地域において治療方針についてコンセンサスを形成し役割分担を明確にすることで、県内の限られた医療資源を有効に活用し、良質な医療を広く県民へ提供する体制を築きたいと考えております。

つきましては、糖尿病連携について下記例示をご参考のうえ、各関係機関の情報共有ツールとして「千葉県共用地域医療連携パス」等を活用するなど各関係機関の相互協力方ご配慮願います。

記

(相互協力の例示)

1. 歯科医師

例) 歯周病治療中の患者に糖尿病との関係を伝達し、糖尿病が疑われる場合や、糖尿病の診断後未治療ないしは治療中断と確認された場合は、内科または必要に応じて専門医を紹介する。

例) 現在糖尿病治療中の患者に対しても歯科治療（特に観血処置）を行う上で、通院中の医療機関と連携をとる。

2. 薬剤師

例) 糖尿病治療中の患者の服薬コンプライアンスを確認するとともに、必要に応じて歯周病と糖尿病の関係を説明し、患者の訴えがある場合は歯科医師での受診勧奨を行う。

平成24年3月1日

千葉県医師会長 様

千葉県共用地域医療連携パス  
ワーキンググループ  
糖尿病部会長

### 糖尿病連携パスのさらなる普及のための提言

日頃より、糖尿病対策についてご協力いただき感謝申し上げます。

さて、当ワーキンググループにおいて協議した結果、糖尿病連携パスのさらなる普及のためには、今後、医師会、歯科医師会、薬剤師会のさらなる連携が必要であるとの結果を得ました。

具体的には、各関係機関が糖尿病患者の状況を確認し、糖尿病患者の重症化を未然に防ぐため、必要に応じて定期的な各専門医への受診勧奨などの連携を行うことです。

つきましては、各関係機関の情報共有ツールとして「千葉県共用地域医療連携パス」等を活用するなど、各関係機関の相互協力方ご配慮願います。

### 記

(相互協力の例示)

#### 1. 歯科医師

例) 歯周病治療中の患者に糖尿病との関係を伝達し、糖尿病が疑われる場合や、糖尿病の診断後未治療ないしは治療中断と確認された場合は、内科または必要に応じて専門医を紹介する。

例) 現在糖尿病治療中の患者に対しても歯科治療（特に観血処置）を行う上で、通院中の医療機関と連携をとる。

#### 2. 薬剤師

例) 糖尿病治療中の患者の服薬コンプライアンスを確認するとともに、必要に応じて歯周病と糖尿病の関係を説明し、患者の訴えがある場合は歯科医師での受診勧奨を行う。

## 平成 23 年度千葉県共用地域医療連携パスワードキンググループ

### 糖尿病部会委員：

部会長	江本 直也	日本医科大学千葉北総病院
委員	栗林 伸一	三咲内科クリニック
	小谷野 肇	順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院
	篠宮 正樹	西船内科
	関谷貞三郎	関谷医院
	平井 愛山	県立東金病院
	青柳 和美	青柳内科クリニック
	藤田 伸輔	千葉大学医学部附属病院
	忍足 和浩	忍足眼科医院
	木屋 和彦	千葉県歯科医師会
	飯嶋 久志	千葉県薬剤師会
	伊勢田洋彰	千葉県健康福祉部
	石出 広	千葉県健康福祉部
	原 徹	千葉県医師会
	田畑陽一郎	千葉県医師会

(順不同・敬称略)